# 陣中日誌

昭和十九年九月

第三師團獨立歩兵第三十四大隊第一中隊

22255

wde 12758

1023

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九月一日

金曜

晴

於ツマゲテ

主要事項

一、中隊長ハ尾作命甲第二十四號第二項ニ基キ「シキホール」島分屯隊兵力增强ノタメ中隊ヨリ旅團軍曹以下八名（擲彈筒一携行衛生兵一名含ム）及銃砲隊友田軍曹以下七名隊長傳令並警乘ノタメ田上伍長古賀兵長ヲ指揮シ、八〇〇「ツマゲテ」出港一一〇〇「ラレナ」着

分屯隊長浜崎曹長及日本鑛業株式會社大同貿易株式會社ノ首脳者ト會シ次ノ情況ヲ聞ク

七月二十四日以來バサック附近狀況惡化シ同地周邊ノ住民及日鑛從業員ノ逃走スルモノ多ク八月二十九日ヨリ三十日夜ニ亘リ從業員ノ大部ハ逃走シ出勤スルモノ全從業員ノ三割程度ナルモ從業員中ノ有力者特殊技術者ナキタメ作業ハ休止ノ狀態ナリ軍ノ日鑛ニ對スル命令ハ九月、十月ノ二ケ月ニ滿俺礦ヲ六千六百噸ヲ必ス積出セトノ事ナルモ現在ハ所ノ鑛山ニテ發掘シアルモノ約五千噸アリ然レ共前記ノ

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

狀況ニテ運搬シ得ズ

本日朝五時「バサック」分隊哨福島兵長以下五名ハ「カルバイン」銃約十挺ヲ有スル敵約七十名ノ襲撃ヲ受ケタルモ克ク哨所ヲ固守シタリト尚土民ノ言ニ依レバ本日午前「ラレナ」「バサック」中間地區ニ敵匪約一〇〇名集結シアリト

右ニ依リ中隊長ハ直ニ討伐スルニ決シ一三三〇浜崎曹長以下二十七名ヲ指揮シ出發ス敵ハ既ニ退散シアリタルヲ以テ一五三〇バサック南方高地ニ進出シタリ此ノ時敵匪約十名退走中ナルヲ認メ攻撃シタルモ敵ヲ逸ス仍テ「バサック」ニ引返シ同地ニ藤軍曹以下一二名ヲ殘置シ陣地構築其ノ他ノ指示ヲ與ヘ一八〇〇出港「ツマゲテ」二二一〇〇歸着ス

此ノ時先月「サンフアン」町ヲ敵ヲ襲撃シタル際敵ニ通シアリタル同町町長及自警團長トシキホール町居住元米人將校ノ妾ニテ敵ト通シアル婦人ヲ逮捕シアリタルヲ以テ連行シ本部情報係



東京・奥谷紙

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

山田中尉ニ引渡シタリ

二、補充員教育係要員トシ　軍曹　志柿助則

病氣受診ノタメ　上等兵　志垣　慧

右「シキホル」分屯隊勤務中ノ處第一項中隊長ト共ニ中隊復帰ス

三、自一一・〇〇　至一三・〇〇　聞丸岡軍曹以下八名各分屯隊糧秣配給ヲ實施ス

バイス防衛隊

四、九月一日現在中隊警備地區兵力配置別紙第一第二及左ノ如シ

中隊人員配置

ドマケテ　中隊長小田中尉以下二十七名（内入室三名　軍曹木村

光雄　兵長豊田継雄　上等兵中村鼎）

バイス防衛隊　坂本中尉以下四二名（別ニ本部通信手三名）

シヤトン防衛隊　松本少尉以下二四名（別ニ本部通信手四名）

シキホル防衛隊　浜崎曹長以下三二名（別ニ本部通信手二名　銃砲

隊ヨリ大隊砲一分隊　友田軍曹以下七名）

シブラン防衛隊　永畑曹長以下二二名

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

パリンピノン分屯隊藤崎伍長以下七名

セブ旅團司令部（對空對戰車等教育並檢閲ノタメ派遣

木村軍曹以下九名

水上勤務隊　坂田伍長以下五名

本部勤務　清原軍曹以下二名

大林隊勤務　中島衛生兵

入院　四名山本中尉、谷岡上等兵、佐藤上等兵（退

院ノ旨通知アリタルモ未帰隊）齊藤兵長

備考

一、最初編成當時ヨリ減

102師團司令部轉屬　三名（野田正人、古沢軍民、續永）

78旅團司令部轉屬　三名（荒木孝行、小川初雄、平野鶴義）

戰死　二名（増田勝、甲斐津々喜）

内地還送　一名（永田靖則）

東京・真谷納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

月々命令

一、陸軍兵長　西山孝次
　　同　　菅原丑男
　　同　　中川茂雄

任陸軍伍長（九月一日附）

現在人員

一現在員一五八名
二内　譯　中隊將校三、下士官二〇、兵一九、計一四二名
　　配屬　下士官一、兵一五、計一六名

尾作命甲第二四號拔萃（八月三十一日）

一、部隊ハ一部ヲ以テ「シキホール」島ノ守備ヲ強化セントス
二、小田隊長ハ歩兵一ヶ分隊輕迫擊砲一ヶ分隊ヲ併セ指揮シ明九月一日「シキホール」島ニ前進シ右兵力ヲ浜潛曹長ノ指揮ニ入ラシムルト共ニ之ガ配備ニ關シ指導ヲナシタル上速

陸



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

「ツマゲテ」ニ歸還スベシ

細部ニ関シテハ口達ス、

三、銃砲隊長ハ明九月一日早朝「ツマゲテ」桟橋ニ於テ輕迫擊砲ヲ分隊ヲ小田隊長ノ下ニ差出スヘシ

四、浜崎曹長ハ右兵力ヲ併セ指揮シ依然現任務ヲ續行スベシ

細部ニ関シテハ小田隊長ヲシテ指示セシム

## 主要事項

九月二日

土曜

晴

一、補充員當部隊ニ補充サレ中隊ノ配當教育割當約六〇名トノ報ニ接シ全力ヲ以テ終日兵舎ノ設備ヲ行フ

於ツマゲテ

二、一〇五部隊長當地附近地形偵察ノタメ來隊セラル

分屯隊（シブラン）

部隊長注意事項要旨（陣地構築並ニ諸準備ニ就テ）

## 日々命令

十、小隊長（陸軍曹長 分村）



東京・奥谷納

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、免陸軍軍曹　志柿助則

命　公　藤達也

頭書ノ通リ陸軍主計少尉大河原重男所屬復

分任官ヲ免命ス

九月三日

主要事項

日曜　晴

一、尾家部隊補充兵八名ノ大三ロツマゲテ港到着ニ旨本部ヨリ電話アリタ

ルニ依リ隊長及志柿軍曹岡山兵長受領ニ行ク小田隊長教育担任

於ツマゲテ　スル左記四十三名ヲ受領シ桑幡隊兵舎ニ收容ス

| | 官氏名 | 官氏名 | 官氏名 |
|---|---|---|---|
| 第三義 | 青木紀一 | 櫻澤隆重 | 増田万吉 |
| 〃 | 神山富治 | 〃 印倉正治 | 〃 石垣喜三 |
| 〃 | 塚田伊三郎 | 〃 柳川門三 | 〃 青木不二太郎 |
| 班 | 〃 嶋田利男 | 〃 山崎義雄 | 〃 濱中喜一郎 |
| 〃 | 高野治信 | 〃 山崎永三 | 〃 松本治郎 |

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

| | | | |
|---|---|---|---|
| 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |

導ニ関シテハ桑幡隊長其ノ責ニ任スベシ

之カ教育訓練ハ模範中尉担任スベシ

尚小田隊長ハ一部ノ訓練ヲ本官担任スルモノトス

二、補充員教育ノ多元ノ通リ助教助手ヲ本三日ヨリ教官模範中尉ノ下ニ差出シ其ノ指示ニヨリ教育ニ當ラシムルト共ニ教育終了迄桑幡隊ニ於テ起居セシムベシ

小田隊 助教下士官二 助手兵四

三、第一中隊 陸軍准尉 都丸定雄

右ハ頭書ノ中隊ニ編入ヲ命ス (六月十六日附)

中隊命令

一、陸軍軍曹 八田隆幸

同 志柿助則

陸軍兵長 岡山勇吉

同 清崎辰彦

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

陸軍兵長　丸山平

同　林行男

右ノ者補充員教育助教助手ヲ命ス

シャトル防衛隊

一、四〇〇ノ一三三〇ニ亘ル間渓崎曹長以下一五名PC十一名ヲ指揮シ「カンアパ」（ラレナ東南方約九粁）附近ノ討伐ヲ行フ戦果「タイプライター」一拳銃一同弾薬十五發

九月四日　主要事項

月曜

晴

一、午前中夫舎内諸設備ヲ實施ス

二、〇九〇〇桑幡隊ニ於ケル一騎當千ノ標柱入魂式ニ隊長、林於ツマゲテ同軍曹参列ス

三、一三三〇「シャトン」防衛隊松本少尉以下二十四名同地徴收「ツマゲテ」ニ帰還中隊復帰

四、「シャトン」防衛隊交代要員トシ派遣中ノ渡辺隊山田中尉以下十名前項同様同地ヲ徴收「ツマゲテ」ニ帰還ト同時當中隊中

東京・奥谷納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

隊長ノ指揮下ニ入リ小田隊兵舎ニ宿營ス

五、一三〇ヨリ桑幡隊廣場ニ於テ昨日到着セル補充員ノ入隊式ヲ施行セシ隊長及今村曹長以下十五名出場ス

日々命令

一、小隊長　陸軍曹長　今村　尚

分隊長　陸軍軍曹　菅原辺男

仝　上等兵　江口一惠

仝　仝　佐伯史雄

右ノ者「セブ」防空隊ニ分遣ヲ命ス依而明五日連絡船ニ依リ出發スベシ

九月五日　主要事項

火曜　一、前日日命ニ據リ今村曹長以下四名「セブ」防空隊要員トシテ連

晴　絡船五一九丸ニ依リ〇七三〇「ツマゲチ」港ヲ出帆ス（尚別紙ニ記載

於ツマゲテ　部隊内ヨリ兵六名ヲ加ヘ今村曹長以下十名ナリ）



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二、戦ニ休務シ午前中武器被服ノ手入 午后市内外出ヲ許可ス

三 陸軍准尉 都丸定雄

九月二日日命ニ依リ六月十六日附中隊編入シ部隊本部ニ在リテ勤務中ノ處本日中隊ニ復帰ス

四 陸軍上等兵 柿田豊重

同 軍曹 村忠海

同 馬頃三喜男

同 藤田俊彦

同 谷田武彦

同 (渡辺隊山田小隊) 諸才長七

右暗號教育修業員ヲ命ゼラレ本日ヨリ約二週間ノ豫定ニテ部隊本部ニ通勤ス

シモホル防衛隊

一、〇五〇〇ヨリ一五〇〇ニ亘リ浜將曹長以下十五名PC十名「カロナサン」ーヨベソン間ノ討伐ヲ行フ戦果特記スベキモノナシ

東京・真谷納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九月六日 水曜 晴

主要事項

一、部隊長来隊シ日朝点呼後ノ訓練状況ヲ視察シタル後全員駐歩デ以テ桑幡隊ニ集合セシメ左記要旨ノ訓話アリ

於ツマゲテ

イ、朝ノ零細ナル時間ヲ有効ニ利用シ訓練ノ成果ヲ挙ゲヨ

ロ、補充兵教育ハ直チニ戦闘ヲ得ル兵ニ早ク作リ上ゲヨ

二、午前中一騎當千ノ家棟柱建設準備並ニ舎内外整頓等実施中一二三〇命ニ依リ下士官以上来畑隊ニ集合補充員ノ射撃(伏射)教育ヲ見學シタル後部隊長ヨリ本部各隊下士官以上ニ對シ左記要旨ノ訓話アリ

イ、衛兵勤務ノ外来者取扱ニ就テ

ロ、幹部ノ指導法ニ就テ 教練場往復ノ時間ヲ利用地形ニ依リ計画ヲ立案セヨ 兵ハ一般ニ百習ヲナサシメ適確ナル動作ヲナス如ク指導シ教官助教ハ個人教育ヲ主トス

3、内務ト教練ノ一體ニ就テ

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、午後一時當千ノ家標柱建立並ニ對空壕構築一部ヲ以テ兵舎修築作業

四、本日會報ニ依リ補充兵教育隊ヲ訓練隊ト呼稱スルコトニ定メラル

五、パリンピノン分屯隊田尻上等兵以下三名シブラン分屯隊原田軍曹以下三名連絡ノタメ來隊ス

六、入皇（マラリア疑）　兵長　安武亨

（〃　）　上等兵　潮谷戎

（原文注釈不詳）　〃　立岩惣吉

九月七日

木曜　晴

主要事項

一、〇八〇〇ヨリ一時當千ノ家標柱入魂式ヲ執行ス

部隊長　情報係山田中尉　桑畑隊長臨席セラル

於ツマケテ　式次第

一、一同整列部隊長ニ敬禮

二、隊長標柱建設ノ趣旨ニ就テ



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、地鎮祭入魂式ニ同参敬礼
四、部隊長訓示
五、隊長警戒
六、一同敬礼
七、解散部隊長ニ敬礼
二、一〇〇〇ヨリ都丸准尉指揮ノ兵舎ノ改造及農園ノ手入
三、本日「ビサヤ」地区ニ対シ警戒警報発令セラル
四、大林隊衛生一等兵　松永辰雄
右本部勤務中ノ處九月二日附ヲ以テ田隊配属ヲ命セラレ着隊ス
五、一六〇〇隊長部隊長ト共ニ華僑ノ招待會ニ出席
六、二〇〇〇ヨリ隊長比島側憲法發布記念式ニ出席

九月八日　主要事項

・晴　金曜
一、〇六〇〇非常出動ノ命ニ依リ隊長以下三六名直チニ整列シ桑幡隊ニ於ツマゲテ至リ部隊長ノ指揮下ニ入ル

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大詔奉戴日ニ付大詔奉戴式後狀況ヲ示サレ戰備行軍（ツツマゲテ）南側地区）及所感傳令ノ演習ヲ行ヒ一〇九〇〇終ル

三、將校及動務ニ支障ナキ下士官ハ本部將校集會所ニ集合先般副官會議事項傳達アリ

三、一三三〇ヨリ將校ハ將校集會所ニ於テ防空規定ノ説明及戰訓速報ノ説明アリ

四、午前午后共兵舍改造兵室移轉

五、渡辺隊山田小隊　上等兵　橋本辰義

〃　山辺孝良

〃　橋本昇

右入室中ノ處本日退室山田小隊ニ復旧ニ付中隊ニ來ル

六、夕食事下士官以上ノ會食ヲ行ヒ部隊長及副官臨席セラル

七、二一〇〇隊長ハ部隊長ノ許ニ至リ部隊長明九日ヨリ旅團司令部ヘ出張スルニ付不在間ハ「ハイス」方面討伐ニ關スル指示ヲ受ケタリ

東京・興谷納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ベリビーン分屯隊

八、一九〇〇ヨリ約三十分間敵艦約十名ヨリ射撃ヲ受ク

バイス防衛隊

九、「セントラル」住民ノ流言ニ依レバ敵艦約五〇〇ノ兵力ヲ以テ「バイス」地區各分屯隊ニ燒討ヲ行フトノコトナレド変化ナシ

シキホール防衛隊

一〇、浜崎曹長部下十八名ト十四名ヲ指揮シ「カンゴマントン」「ラシ」附近ノ討伐ヲ行フ一〇五〇出發九日〇二〇〇帰着戦果ラジオ器械一

九月九日

土曜

晴

主要事項

一、午前中一部兵室ノ改造、對空壕構築農園蔬菜稻種ヲ行フ

二、都丸准尉以下二十九名尾作命甲第二十八號ニ依リ「ルスリヤガ」「バコン」方面討伐ノタメ乘幡隊長ノ指揮ニ入リ自動貨車ニ依リ一五〇〇出發「ルスリヤガ」分屯隊ニ宿營シ同夜下士官以下六名ノ潜伏斥候ニ組ヲ附近部落ニ派遣警戒ス

三、百一五〇～二〇〇間中村軍曹以下六名右自動貨車警乘トシテ服務ス

四、退室　　上等兵　立岩惣吉

〃　〃　潮谷茂



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九月十日

日曜

晴

於ツマゲテ

バイス防衛隊

主要事項

一、都九淮尉以下ノ討伐隊ハ四〇「ルスリヤガ」分屯隊出發北方約四粁「ボンボン」部落ヲ夜襲同地別莊ラシキ空家屋七棟ヲ燒却シタル後同地ヲ徹退シ「ルスリヤガ」「バコン」間ヲ掃蕩シ「バコン」ヲ經テ夫〇〇時隊ス

二、本日訓練隊補充員兵「バコン」方面討伐ニ際シ分隊長要員トシテ中村軍曹ヲ派遣ス〇夫〇〇出發 一五〇〇時隊ス

三、パリンピノン分屯隊ニ輕機關銃ヲ支給スルタメ吉川軍曹以下六名裝甲自動車ニ依リ差出ス 一七三〇出發 一八二〇時隊ス

四、「ブキボル」分屯隊兵長大倉正出様突起炎ノ疑ニテ亀田兵長以下二名ニテ月礦輸送船ヲ借リ中隊ニ連行シ來ルヲ以テ大倉兵長ハ直チニ入室セシム

五、「セントラル」製紙工場ニ對シ敵距數名射擊シ來ルモ丸岡軍曹以下八名ヲ直チニ派遣セリ擊退ス

東京・共益納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

六、尾作命甲第二十七號ニ依リ「パイス」附近討伐ニ関シ左記命令ヲナシ「パイス」坂本中尉ニ對シ討伐ノ計画ヲ立案スル如ク電報ス

中隊命令

一、「パイス」周辺ノ敵ハ最近食料獲得及治安攪乱ニ稍活潑ナルモノヽ如シ

二、中隊(桑幡隊mg一小隊及本部警乗兵一名ヲ含ム)ハ九月八日尾作命甲第二十七號ニ基キ明十日ツマゲテ出發「パイス」附近ノ敵ヲ撃滅掃蕩セントス

三、「パイス」分隊坂本中尉ハ最小限ノ人員ヲ以テ警備ニ任セシメ残餘ハ余ノ「セントラル」到着ト同時ニ討伐隊ニ参加スベシ

四、服装ハ軍装ニシテ背嚢被甲ヲ除キ天幕ヲ携行スベシ

五、給養ハ直食ヲ炊事シ携帯口糧甲一日乙一食分携行スベシ

六、其ノ他細部ニ関シテハ口達ス

第一中隊長　小田中尉

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九月十一日

月曜

晴

於ツマゲテ

主要事項

一、前日中隊命令ニ基キ「バイス」討伐ノ為〇八〇〇出發準備完了シアリタル處「セブ」出張中ノ部隊長ヨリ電報ニ基キ留守隊長桑幡中尉討伐中止ヲ命令セラル

二、午前午后共ニ對空射撃設備對空壕ノ強化ヲ行フ

三、一三〇ヨリ小田隊―「シブラン」間ノ電話不通ニ付通信確保並不

軍曹以下七名ニ依リ補線並ニ電話機ノ修理ヲ行フ掩護ノタメ

鬼塚軍曹以下二名差出ス此ノ自動車ヲ利用シ「シブラン」分屯

隊中村静彦、高大四郎両上等兵ヲ「ツマゲテ」ニ飯還セシメ

大森久喜荒木力造両一等兵ヲ分屯隊ニ派遣交代服務

セシム尚同分屯隊ニ軽機一、酒保品加給品等ヲ携行支給

シ一九〇〇帰隊ス

四、中隊長前項作業隊ト同行シ「シブラン」分屯隊員一同ニ對シ予

常部隊長訓示並ニ注意事項ヲ傳達ス

東京小津商



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

五、退室（マラリヤ疑）　兵長　安　武　亨

六、退院（主指腸糊出症）上等兵　谷　岡　大　七

「セブ」陸軍病院入院中ノ處九月八日退院本日中隊復帰ス

七、「シキホール」分屯隊亀田兵長以下三名非常用糧秣三ヶ月分受領

シブラン防衛隊

八、一五〇〇警戒警報解除トナル

九、一五〇〇敵還ス

九、〇〇〇〇　明各人一發ノ實弾射撃ヲ實施ス

九月十二日　火曜　晴

主　要　事　項

一、鉄條網破壊要領ノ教育約二時間行フ

二、一〇三五空襲警報發令セラレ全員對空準備ス

三、一六〇〇敵艦上戦闘機「グラマン」三十機「セブ」方向ヨリ來襲シ飛行場及橋附近ニ對シ約三十分銃爆撃ヲ行ヒ東方ニ退去ス、我尾崎部隊ニ被害ナシ

同時「シキホール」「ラレナ」ニ敵機來襲入港中ノ船舶ニ爆撃ヲ実施シモ我分屯隊ハ被害ナシ

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、夜間下士官以下五名ノ巡察四組ヲ派遣シ市内ノ警戒並ニ住民動静ニ注意セシム

五、陸軍軍曹　木村光雄
〃　衛生上等兵　村山重盛

右ノ者事務連絡ノタメ「セブ」出張定期連絡船ニ依リ九月「マケテ」出帆「ニロ「シキボール」島「ラレナ」着同地分屯隊ニ連絡ノ為上陸中敵機ノ襲撃ヲ受ケタルモ同連絡船ニハ被害ナク他ノ船泊ニ戦死三名負傷ナ五名アリ之ヲ以テ村山上等兵ハ之カ看護ニ任シ「七ロ「セブ」ニ向ヒ出帆ス

六、入院（肺浸潤）　上等兵　中村勝

七、渡辺隊　山田小隊　伍長　大石二郎
「セブ」陸軍病院入院中ノ處退院取隊シ中隊ニ到着ス

八、本部兵器班ヲ弾薬分散ノタメ自動貨車二輌中隊ニ運搬ス

九、「ヤ三ロ」—「七ロ」敵飛行機約三十機ノ来襲アリ防衛隊ニ被害

シキボール防衛隊

東京小津納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

被害ナキモ碇泊中ノ船舶三隻災上シ戦死者三名負傷十五名ヲ出セリ

「セブ」ニテ戦死傷

一、本日「セブ」ニ於テ敵機多数ノ来襲ヲ受ケ「セブ」防空隊ニ分遣中ノ小隊長今村尚曹長右脚重傷菅原五男伍長戦死佐伯上等兵軽傷セリト（中隊ヨリ「セブ」入院者中村鼎上等兵ヨリノ報告ニ依ル）

九月十三日

主要事項

水曜

一、全力ヲ以テ対空壕ノ強化ヲ行フ

晴 雨

二、〇九三〇敵艦上戦斗機（グラマン）及艦上爆撃機ノ連合約一五〇機東方ヨリ来襲一時間ニ亘リ前日同様銃爆撃ヲ行ヒ東方ニ退去ス尾泉部隊各隊共被害ナシ尚一五時三〇敵機大機南方ヨリ侵入「ツマゲテ」市及東方海面上空ヲ約二〇分旋回シ東方ニ去ル

三、一一〇〇松本少尉以下二十名飛行場附近ニ敵数名落下傘ニ依リ降下セルトノ報ニ依リ之ガ捜索ノタメ出動セシモ所在部隊ニ

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

依リ射殺セシニ依リ一三二〇部隊ハ、
四、一三〇〇都丸准尉以下八名飛行場附近警戒援助ノタメ飛行
場周辺ノ巡察ヲ行フ
五、木村軍曹以下九名對空、對戦車集合教育並ニ射撃對
對戦車肉迫攻撃檢閲受檢ノ為「セブ」出張中ノ處部
隊ヲ
六、退院（胸膜炎）中尉　山本武喜
〃　（脚氣）上等兵　佐藤勝則
「セブ」陸軍病院入院中ノ處九月十日退院本日中隊復帰
七、夜間下士官以下六名ノ巡察三組ヲ派遣シ市内ノ警戒並ニ
住民ノ動靜ニ注意セシム
八、一九〇〇ヨリ田上伍長以下六名派遣橋梁分哨（バコン道）ヲ
ト協力服務セシム
九、「セブ」出張中ノ木村軍曹、村山衛生上等兵ハ連絡船ニ依リ

日ニ於テ戦死

東京 小津納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

「セブ」港入港直前敵機襲撃ヲ受ケ本村軍曹ハ腹部貫通銃創ヲ受ケ村山衛生上等兵ハ負傷者ノ救助ヲ致シ居ル際頭部ニ貫通銃創ヲ受ケ戦死ス（同乗入院セシ中村鼎上等兵ノ報告ニ依ル）

バイス防衛隊

一〇、〇〇村上等兵以下三名ノ警戒兵ヨリ分屯隊西方百米附近ヲ敵態ラシキモノ約五十名通過セリトノ報告アリ分屯隊ハ直チニ非常配備ヲ以テ至厳ナル警戒ヲセシメ砂糖倉庫ニ潜入セリ之ト交戦遺棄死体一、重傷一名ヲ残置セシメ撃退ス

シキホール防衛隊

一一、〇〇敵機約六十機来襲シタルモ被害ナシ

九月十四日

主要事項

木曜

一、午前午后共ニ全力ヲ以テ對空壕ノ強化ヲ行フ

二、百一五二〇至一六四〇開舎内ニ於テ山本中尉指導衛生法急救法止血法ノ教育ヲ實施ス

於ツマゲテ

三、夕食後約三十分間射撃豫行演習及銃剣術基本ヲ行フ

四、退室（マラリア疑）上等兵　田尻正義

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

五、夜間下士官以下六名ノ巡察三組ヲ派遣南ノ警戒ニ任ゼシム

六、敵機空襲ニ依リ飛行隊ヨリ原田少尉以下二十一名當分ノ間
（シブラン分遣隊）
隊ニ宿泊ス

七、前二日ノ敵機空襲ニ現住民ハ怯ヘ「ラレナ」ハサツク」附近ヨ
（シキシ防衛隊）
リ敵艇ノ住ム山ニ引上グルモノ多シ

九月十五日　主要事項

金曜　一、頃ロヒロ時ロ中隊長以下二十大名糧秣弾薬ノ補給並ニ事務
晴　連絡ノタメ自動貨車四輌ニ依リ「バイス」分遣防衛隊ニ出張ス
（バイス防衛隊）
於ツマケテ　二、殘留者全員對空射撃豫行演習ニ間ニ亜亘リ二時間實施
三、入室（デング熱）　上等兵　佐藤勝則
四、夜間巡察前日ニ同シ
五、中隊長來隊シ左記事項ニ就キ訓話アリ
一、時局ノ重大性ニ就テ
二、警備ニ關スル指導

東京小津納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

3、訓練ニ徹底セヨ

〃 軍司令官 師團長訓示ニ就テ

九月十六日 土曜 晴

主 要 事 項

一、自 七時五分 至 九時 吉川軍曹以下十名「ハイス」連絡ノ警乘ニ服務ス

帰途「アユキタン」西南方約二粁附近隘路ニ於テ約三十名ノ敵距ヨリ射撃ヲ受ケ交戰三十分ニシテ撃退シ尚前進中「ジブラン」町北方約一粁ノ地點ニ於テ約六名ノ敵距ノ射撃ヲ受ケタルモ交戰約十分ニシテ撃退ス 本戰斗第一回交戰中左記負傷者ヲ出ス

於ツマゲテ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 両手指擦過銃創 | 上等兵 | 築地幸吉 | |
| 左前膊(内側)左手指擦過銃創 | 〃 | 馬原三喜男 | |

其他 外ニ同行ノPC隊員四名軽傷シアリ

二、殘留者全員午前午后各一時間對空射撃除行演習ヲ行フ

三、夜間巡察前日ニ同ジ

四、八日部隊長來隊將校ニ對シ對米戰斗其ノ他ニ就キ一時間指

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

導セル

五、二三〇〇部橋梁分哨（田上伍長以下六名）ヨリ同所ニ協力勤務中ノPC隊員一名執銃ノ儘逃走セシ旨報告ニ來ル

シヤホール防衛隊

六、淚崎曹長以下七名治安確保ノタメ「ランラン」東北方約三粁「カンラン」ホ附近ノ討伐ヲ行フ狀況悪化シ今迄皇軍ニ協力シ居ル住民モ日一日ト減シ皇軍ヲ見ハ逃走スル如クナリ

九月十七日 日曜 晴

主要事項

一、一般ニ舍内ニ於テ休務

二、渡辺隊山田小隊 上等兵 橋本次義

於ツマケテ

右ノ者大隊本部勤務ヲ命セラル（本日附）

三、夜間下士官以下六名ノ巡察二組ヲ派遣シ市内ノ警戒ニ任セシム

九月十八日 月曜 晴 於ツマケテ

主要事項

一、山田中尉以下三十名尾作命甲第三十二號ニ基キ桑幡隊長ノ指揮ニ入リ〇九〇〇出發スルスリヤガ附近ノ討伐ヲ實施シ六〇〇

東京小津納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

敵隊ス戰果敵捕虜二名

二、本日〇九三〇「ピサヤ」地區空襲警報解除セラレ警戒管制トナル

三、隊長訓練隊ノ教練ニ出場ス

四、八〇〇皇軍將校ト比隊將校トノ懇談會食ヲ行ハル隊長以下將校四名出席ス

五、下士官以下六名ノ巡察三組ヲ派遣シ市内ノ警戒ニ任セシム

六、一五三〇山田小隊 吉野軍曹以下五名「トロン」渡辺隊ト連絡ノタメ出發ス

尾作命甲第三十二號 抜萃

一、「コルスリヤガ」附近ノ敵ハ空爆後執拗ニ「ソマケテ」南方地區ノ分出隊ニ對シ夜襲シ來リ其ノ行動極メテ活發ナリ

二、部隊ハ一部ヲ以テ此ノ敵ヲ撃滅掃蕩セントス

四、小田隊長ハ歩兵一ヶ小隊ヲ現在地ニ於テ桑幡隊長ノ指揮ニ入ラシムベシ

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九月十九日

主要事項

火曜

一、自〇九〇〇至一二三〇間鬼塚軍曹以下十名「ツマケテ」ー「シブマン」間ノ電話線構修作業警護ニ任ズ

晴

於ツマケテ

二、〇九〇〇ヨリ中隊長米軍戦況ニ対シ戦半並ニ之ニ対スル吾等ノ覚悟ニ就テ学科一時間

三、一一〇〇ヨリ山本中尉指導ノ下ニ対空射撃豫行演習四十分間

四、一五〇〇ヨリ山本中尉指導ノ下ニ対戦車肉迫攻撃班ノ学科並ニ基本教育二時間

五、本部疎開ノタメ中止中ナリシ暗號教育開始ニ付修業兵六名通修ス

六、夜間巡察前日ニ同ジ

九月二十日

主要事項

水曜

晴後曇

於ツマケテ

一、「トロン」渡辺隊ニ連絡ニ行キタル吉野軍曹以下五名〇七〇〇帰隊ス

二、〇九三〇軍長以上部隊長ノ許ニ集合シ今次決戦ニ臨スル尚集団長ノ訓



東京 小津商

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

示傳達並ニ教育上ニ就テ注意アリ

三、一五〇〇桑幡隊廣場ニ於テ戰病死者十二體（内三体ハ船舶工兵ノ分）ノ合同慰靈祭ヲ行ハル警備其ノ他ニ支障ナキモノ全員參列ス

四、九月十二日事務連絡ノタメ出張セル木村光雄軍曹　村山重盛衛生上等兵ハ九月十日セブ港ニ於テ敵ノ空爆ニ依リ戰死セル旨通報アリ仍テ本日部隊遺骨全部「セブ」経由「マニラ」向ケ送達セラルニ依リ右兩名ノ遺留品ヲ發送ス尚木村、村山兩名ノ遺骨ハ「セブ」ニテ受領「マニラ」ニ送達スル由

五、夕食後全員ニテ對空壕ノ強化ヲ行フ

六、退室（デング熱）　上等兵　佐藤勝則

七、夜間巡察前日ニ同ジ

八、渡辺隊主力「シブラン」地區警備ノタメ到着同地ニ宿營ス

九、淡崎曹長以下一三名「ヒラノ工ハ」附近敵情捜索並示威ノタメ行軍ス

シブラン防衛隊
シキホル防衛隊

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九月三日　主要事項

木曜

一、午前中山本中尉指導對空射撃對戰車肉迫攻撃班ノ動作訓練

晴

二、「バリンピノン」分屯隊電話不通ニ付補線並ニ糧秣補給（一ヶ月分）加給品支給ノタメ隊長以下一七名一五〇〇出發一七〇〇帰着ス

於ツマゲテ

隊長ハ上司ノ訓示事項其ノ他諸注意ヲ傳ヘ帰途不意ニ敵襲ヲ受ケタル場合ノ訓練ヲ行フ

三、コレスリヤガ分屯隊敵襲ニ関シ増援ノタメ山田中尉以下四十四名（mg一ヶ分隊一〇名ヲ含ム）二一〇〇討伐ニ出發ス

照夜間巡察前日ニ同ジ

（シンキホール）附衛隊

五、一四〇〇―一七〇〇實弾射撃教育ヲ行フ

九月三十日　主要事項

金曜

一、前日「ルスリヤガ」附近討伐ニ向ヒタル山田中尉以下一一〇〇無事帰隊ス

曇小雨

二、隊長午前中訓練隊教練指導ニ出向ス

於ツマゲテ

三、一三〇〇ヨリ將校ハ部隊長ノ許ニ集合諸注意ヲ與ヘラル

東京小津納



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、一五〇〇ヨリ松本少尉指導鐵條網穏密破壊動作教育ヲ行フ
五、夜間巡察前日ニ同シ

日々命令

一、陸軍中尉　山本武喜
在留邦人ノ警豫定者教育教官ヲ命ス

主要事項

九月三十日
土曜
晴
於ツマゲテ

一、四〇八〇ヨリ一七〇〇間山本中尉以下二十六名ノ「バイス」連絡警乘ニ服ス
二、殘餘ハ山田中尉指導午前射撃豫行演習破壊班ノ前進法
午后對空射撃及對戰車肉迫攻撃動作ノ訓練ヲ行フ
三、退室（異樣炎起災疑）兵長　大倉正

四、夜間巡察前日ニ同シ
五、防衛隊長永畑曹長「バイス」連絡者ト同行「アユキタン」ニ出張
部隊長及中隊長注意事項ヲ傳達ス
六、「ツマゲテ」ヨリ連絡アリ砂糖、アルコールヲ運搬「ツマゲテ」ニ飯盒セラル

シブリン防衛隊
バイス防衛隊

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九月二十四日 日曜 晴

於ツマゲテ

主要事項

一、〇八〇〇ヨリ「ツマゲテ」南端海岸ニ於テ實包彈射撃教育ヲ行フ
距離二二〇米小銃頭部伏射小銃各人一發宛三發

二、尾作命甲第三十四號ニ基キ濠辺隊ヨリ臨時配屬中ノ山田小隊（山田中尉以下二十名）ヲ現所屬ニ復帰セシメ「アユキタン」分屯隊後藤伍長以下八名ジブラン分屯隊永畑曹長以下十名夫々警備ヲ濠辺隊ト交代シ一八〇〇帰隊ス

三、〇九五〇空襲警報發令セラル

四、夜間巡察前日ニ同シ

シンガポール防衛隊

五、浜崎曹長以下三五名（内PC一四在留邦人五ヲ含ム）ヲマリヤン附近ノ討伐ヲ行フ〇五〇〇出發一六〇〇帰着戦果ナシ
同地附近ハ老幼婦幼者ノミアリ若者ハ全部敵匪ニ合流セルガ如シ

九月二十五日 月曜

主要事項

一、午前〇八〇〇ヨリ中隊長精神訓話（今次決戦及對米戦ニ

東京 小津商



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

# 小田隊編成表

## 小田隊指揮班

隊長中尉小田又雄
指揮者及曹長永畑時良

曹長令村尚
給與係曹長浜府直記
金浅令軍曹林田義利
兵站司令部 志垣助則
連絡係 木村文雄
同 兵長爪原包雄
兵長古賀辰幸
上等兵石井公雄
益田常雄
松本春義

## 山本隊

### 第一分隊

一分隊長軍曹坂門三義
上の兵 後藤光
上の兵 水田宮本修勉
上 清藤常雄
上 古賀武雄
緒方尚亀
中村静彦
白石松郎
園田元秋
一 桐原清馬
松本立雄

### 第二分隊

二分隊長軍曹清泉
兵 福島順義
豊田喜雄
荒木孝雄
田尻行
上 田口義光
山岡吉一
清水幸
斉藤勇
江崎義一
中島猛

### 第三分隊

三分隊長軍曹泉田
上兵 兵 北川秋男
山崎孝
浜崎幸
廣瀬松雄
橋本辰人
野田正
竹崎定
在迫大
大倉正
一 兵 西田光
山本喜
市郎

### 第四分隊

四分隊長軍曹村
兵 岡田喜
中川房雄
上 田畑幸
篠原光
兵 土井繁
小林一
馬場猛
石山都
山田畑
村
寺岡厚了

## 坂本隊

一分隊長軍曹坂門
兵 兵 宮山
上 亀田
上 蛇島
上 水村
上 田岡
田上
福井義
岩泉金
甲斐忠
東下正
平田
予田
末
正
高
秀
亀
田
義
金
忠
陸
海
久
巨
正
牧
厚
喜
馬
雄
義
喜
雄
藏
雄
喜
雄
考
厚
喜
馬
雄
義
喜
雄
藏
雄
喜
海
久
巨
正

### 第一分隊

一分隊長軍曹増田
兵 竹村
奥田
度辺
横田
吉田
中田
衛
河
竹
永
一
内
瀬
藤
井
部
崎
一
光
末
義
俊
廣
明
森
慶
一
藏
勝
永
夫
義
廣
雄
雄
次
彦
義
雄
藏
勝

### 第二分隊

二分隊長軍曹
兵 上
荒木
林
馬
田
江
村
黒
安
清
崎
鬼塚
正
辰
則
中
社
小
刈
小
田
原
代
口
上
田
寅
大
一
力
八
定
彦
義
行
義
三
吉
男
男
恵
雄
人
蔵
人
男
恵
雄
八
定
彦

### 第三分隊

三分隊長兵長
上兵
河
平
井
松
永
廣
谷
松
志
俊
田
上
野
上
下
白
田
村
柳
堤
藤
鶴
定
一
靖
武
辛
弥
常
正
林
義
義
則
績
彦
男
郎
慧
喜
一

### 第四分隊

四分隊長軍曹
上兵
中村
松
村
川
地
岡
佐美
田
場
原
村
上
村
輝
幸
大
利
光
義
茂
行
吉
行
正
勲
晋
武
利
雄
人

### 第五分隊

五分隊長軍曹
上兵
中築
谷
宇
室
金
藤
中
村
松
川
野
上
下
白
田
村
柳
堤
藤
輝
幸
大
利
光
義
茂
行
吉
行
正
勲
晋
武
利
雄
人

## 桜本隊

一分隊長軍曹
上兵
大
江
湖
藤
本
林
柳
宮
上
丸
宮
木
森
藤
谷
田
田
田
村
田
山
本
村
光
久
秋
俊
行
豊
忠
喜
廣
茂
彦
茂
雄
茂
海
勉
平
等
雄



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

曇騎兵ノ
於ツマケテ

就キ)一〇三〇ヨリ松本少尉指導對空射撃動作ヲ行フ
二、隊長ハ一二〇〇部隊長ノ許ヘ集合第二期教育ニ関スル計画及
對空設備ノ強化等ニ関シ指示ヲ受ク
三、九月分各人一發實弾射撃成績ヲ報告ス
四、山本中尉本日ヨリ當分ノ間午前中在留邦人教練指導ニ出場
五、夜間巡察前日ニ同シ
六、一六〇〇ヨリ橋岡分隊ニ對シ拳銃ヲ有スル敵約五〇海岸及山
地両方面ヨリ射撃シ来ルモ被害ナシ

防衛隊ハ

九月二六日
火曜
晴後雨
於ツマケテ

主要事項
一、午前中隊長指導對空設備強化午后降雨ノタメ兵舎ノ一部
改造ヘ
二、將校普及教育一三〇〇ヨリ部隊本部ニ於テ對戦車肉迫攻撃
ノ教育ヲ村川中尉實施ス
三、ブンキホール外防衛隊ニ於テ討伐中戦死四名(内一名日鑛

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

社員）負傷二名（内一名現地人密偵）ヲ生シタル旨部隊本部ヨリ通報アリ

戰死　上等兵　大野定義

〃（桑幡隊ヨリ臨時配屬）兵長　金瀬米春

〃　〃　一等兵　田中鶴男

負傷〃　軍曹　友田義高

〃　〃　上等兵　清野熊志

シキホール防衛隊

四、一一三〇ラレナ東南方約一粁ノ地點ニ於テ「ハサック」分屯隊ヘ連絡ニ行キタル友田軍曹以下敵匪ノ襲撃ヲ受ケ前項死傷者ノ外日鑛社員（技師）一名戰死密偵一名重傷セリ

九月二七日　主要事項

水曜

一、「シキホール」負傷者還送船一二三〇入港隊長以下一二名桟橋ニ出迎ヘ本部桑幡隊出迎者ト共ニ露營地醫務室ニ於ツマケテ負傷者二名ヲ收容ス



東京 小津樹

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

右護送ノタメ片平衛生上等兵來ル

三、「シキホール」戦死傷者交代要員及病氣治療ノタメ中隊復帰中ノ者ヲ「シキホール」ニ派遣ス

大野定義　交代　上等兵　田上米光

病氣治療中ノ者　兵長　大倉正

〃　上等兵　志垣慧

桑婦隊ヨリノ交代者　軍曹　松本政男　外二名

衛生上等兵　片平等

右ハ四五〇出發　八〇〇無事到着

三、都丸准尉以下二十五名屋作命中第三五號ニ依リ「バイス」防衛隊連絡ノ警乘並ニ附近討伐ノタメPC隊長以下十九名ニ便乘セシメ自動貨車ニ依リ〇八〇〇出發「バイス」防衛隊坂本隊ニ至リ指令ス

四、殘餘ハ吉川軍曹指揮シ兵舎改造作業ヲ行フ

五、將校及内務掛准尉ハ三〇〇部隊長ノ許ニ集合　對空射

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

撃部隊連絡規定 保育規定ノ説明及下士官以下ノ進級ニ就テ指示アリ

六、夜間巡察前日ニ同シ

九月二十八日 水曜 主要事項

一、「バイス」出張中ノ都丸准尉以下二十名(坂本隊擲兵長以下五名含ム)ハ〇二〇〇分七隊出發 PC隊長以下二十名ト協力シテバイス」西北方約八粁「カンラング」部落ヲ夜襲シ(戦果捕虜三名タイプライター一)家屋約四十棟ヲ焼却ノ後同地ヲ徹退一一〇〇坂本隊ニ帰着一四三〇同地出發途中各分屯隊ニ連絡シ一七〇〇無事帰隊ス

二、殘留者ヲ以テ兵舎改造作業ヲ行フ

三、夜間巡察前日ニ同シ

九月二十九日 金曜 主要事項

一、花作命甲第一號ニ依リ中隊長ハ小田隊(四分隊)ニ配属

部隊長ヨリ達命

東京 小澤紙



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

及訓練隊ヲ合セ指揮シフルスリヤガ」「パリンピノン」「バコン」附近討伐ヲ兼ネ行軍練成ノタメ一八〇〇出發一九〇〇無事飯着ス

該地區住民ハ去ル九月十三日敵ノ空襲以來山地ニ遁入シ殆ント人影ヲ見ナル狀況ニテ戰果ナシ

三、陸軍軍曹　鬼塚正則

「セブ」ニ於ケル爆藥取扱講合教育ノタメ一九〇〇出港ス

三、陸軍上等兵　石山猛

中隊郵便貯金及爲替送金事務ノタメ「セブ」ニ出張セシム

一九〇〇出港ス

バイス防衛隊

四、一九二〇水源地分哨長伍長西山孝次巡察中敵ト交戰左上膊骨々折貫通銃創ヲ受ク二〇〇坂本隊以下八名同地ニ急行西山伍長ヲ收容ス

九月二十日　土曜

主要事項

一〇〇〇「バイス」坂本中尉ヨリ西山伍長重傷ノ電話ニ接シ直チ

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

晴

於ツマゲテ

二部隊長ハ報告ス

右收容多ク松本少尉以下二十六名外二本部山本衛生曹長自動貨車ニ依リ一八〇〇出發一四〇〇帰着シ西山伍長ハ直チニ患者療養所ニ入院シ左腕上膊部ヲ切斷ス

二、殘餘ハ對空壕ノ整備強化ヲ實施ス

三、一三三〇將校ハ本部ニ集合普及教育ニ參加

四、夜間巡察前日ニ同ジ

日々命令

一、陸軍軍曹　藤　達也

給一等給

陸軍曹長　今村　尚

給三等給

陸軍軍曹　山川陸海

同　鬼塚正則

東京小津稿



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

給二等給

二、陸軍上等兵　谷田武孝

右ノ者當分ノ間本部事務室勤務ヲ命ス

三、陸軍上等兵　橋本辰雄

〃　一等兵　林田義人

右ノ者補助衛生兵集合教育要員ヲ命ス

陸軍



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

（日本標準規格 B 4 ）



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

別紙第一

# 警備地區別配置人名表

九月一日現在

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 中隊主力（ツマ・ケ・ヲ地区）(34) | 中隊長 中尉 小田又雄 | 軍曹 | 一上兵伍 | 中緒江佐田中中水石立齊廣上山田谷清志桐園古豊永岡田藤上木坂志吉林今<br>島方口伯畑村村上山岩藤田田口尾田水垣原田庄田田山上崎村村門柿川田村<br>良尚一定幸静 司馬 惣 勇正武幸 清元武継 勇正義茂光三助改大義<br>三亀恵夫治孝鼎夫猛吉猛績勲吉義彦一慧馬秋雄雄修吉一彦人雄義則郎利尚 |
| バイス地区 (45) | 小隊長 中尉 坂本正 | 軍曹 | 一上兵伍 | 富東永倉宮山井原木石衛堀竹吉渡横永村菅湯立藤河荒福飛井赤櫻一甲坂桃奥竹宮學小西山丸<br>永 井岡本田手田村山藤部中田遠田田上 野岡崎内瀬田鳥上塚井瀬斐井島村日川 西山川岡<br>九正一忠 直高秀勝光義時俊明森廣申義貞藤亀熊末又数九州福三一光 重金夏一 一孝陸正<br>一孝夫雄登喜雄雄基弘雄雄雄雄孝義次喜雄光市喜造廣次馬男義友夫義厚信藏雄義久正成次海臣 |
| シヤトレン (28) | 小隊長 少尉 松本秀德 | 軍曹 | 一上兵伍 | 荒大奴西山林本藤牛橋中北和高後富松恒後原藤田孝三常紀郎 宮渡鈴橋 村木林築窪金村馬田村片瀬藤柿宮林松黒清安丸菅鬼八<br>木森留湯田本田田林島木村山田久 藤重木 大昏重 配偶無線 本遠木本 出山地田鳥上原代上桐谷田田村 村田崎武山原塚田<br>力久定光一義 達辰 義四 孝聖永光 重茂幸 光三喜行力彌三 俊豊忠行義大辰 丑正隆<br>藏喜男喜郎人光晋雄雄武詮継郎光八義行 治吾治一 盛人吉正勲利男男雄男茂秀重海雄雄八彦亨平雄則幸 |
| シキホール島 (30) | 小隊長 曹長 浜崎直記 | 軍曹 | 一上兵伍 | 清松 配偶無線 田菊立清三金友 配偶軽迫 片中小田井小篠江松廣寺大清江土亀福大宮藤<br>水崎 中川木野浦瀬田 平川林 畑上西原崎下瀬岡野藤藤田田島倉木<br>義清 鶴知寅態生末義 輝一万 定光光秋一松 定常秋 順 達<br>男里 男則男志雄春高 等行都了義雄喜義義夫厚義雄廣繁巍喜正勲也 |
| 中村敬一郎 | 小井山良武 | 配偶無線 (3) | 一孝夫雄登喜雄雄基弘雄雄雄雄孝義次喜雄光市喜造廣次馬男義友夫義厚信藏雄義久正成次海臣 | |

備考

右ハ中隊主力ヨリ派遣ス

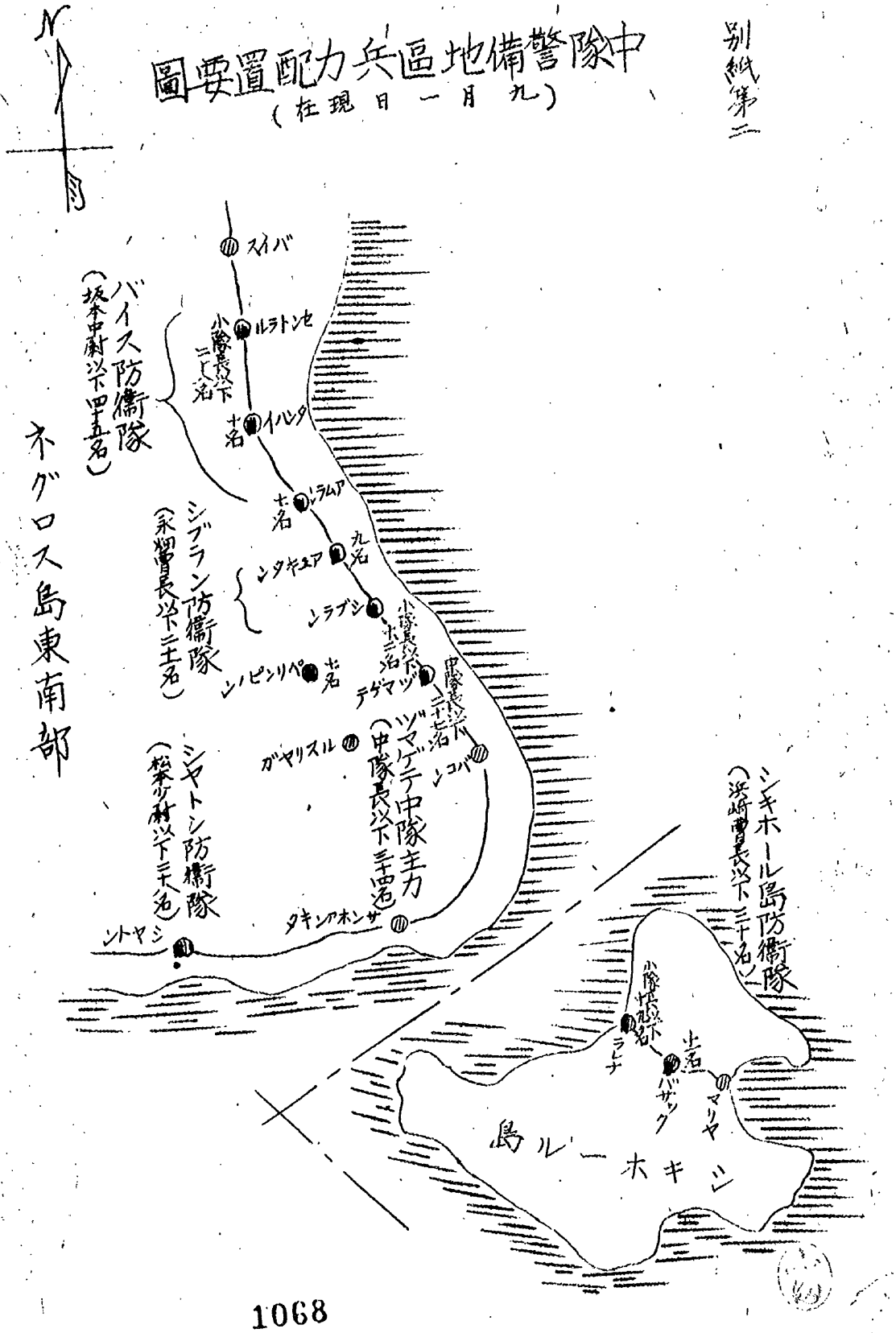
（セブ）旅團司令部対空対戦車教育並ニ検閲ノタメ派遣出張中ノモノ
木村軍曹以下九名ナリ



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

別紙第二

# 中隊警備地區兵力配置要圖
（九月一日現在）






国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp